

ScopePad-500

クイックマニュアル

(1) スタートアップ	2ページ
(2) ScopePadの接続	3ページ
(3) 撮影	5ページ
(4) 画像の閲覧、USBへのコピー	6ページ
(5) VMSで画像を開く、撮る	7ページ
(6) 測定キャリブレーション	8ページ
(7) キャリブレーション値を呼び出す	8ページ
(8) 測定	9ページ
(9) 画像加工	10ページ
(10) 測定加工画像の保存	11ページ
(11) 電源オフ	11ページ



(1) スタートアップ

スクリーンローテーション固定キー



タッチ
スクリーン

リターン
キー

ロック

電源スイッチ

SIM Card Slot (Optional)

TF Card Slot

ミニHDMI

Reset

ミニUSB

Headphone Slot

電源ケーブル差込口

電源投入方法

[ACアダプターを接続している場合]

電源スイッチを、2回押してください。乾電池マークが数秒表示された後、メイン画面が表示されます。

[ACアダプターを接続していない場合]

電源スイッチを、3～5秒程度、長押ししてください。

《ご注意》電源ケーブルを接続しての使用を基本としていますのでバッテリーは軽くて充電が長くないものを搭載しています。通常は電源ケーブルを接続してお使いください。(一度、電源が空になると10分程度初期起動用の充電にかかります)

- スクリーンローテーション固定スイッチは通常中心側(固定)になっています。画面の向きを固定します。

その他の出力端子

- マイクロSDカードが使えます
- mniHDMIで外部モニターなどに接続ができます。(通常のHDMIケーブルにminiHDMI変換アダプターを接続します)
- miniUSB接続ケーブルが付属していてマウスやUSBを接続することができます。

Power Switch

SIM Card Slot (Optional)

TF Card Slot

HDMI

Reset

Mini USB

Headphone Slot

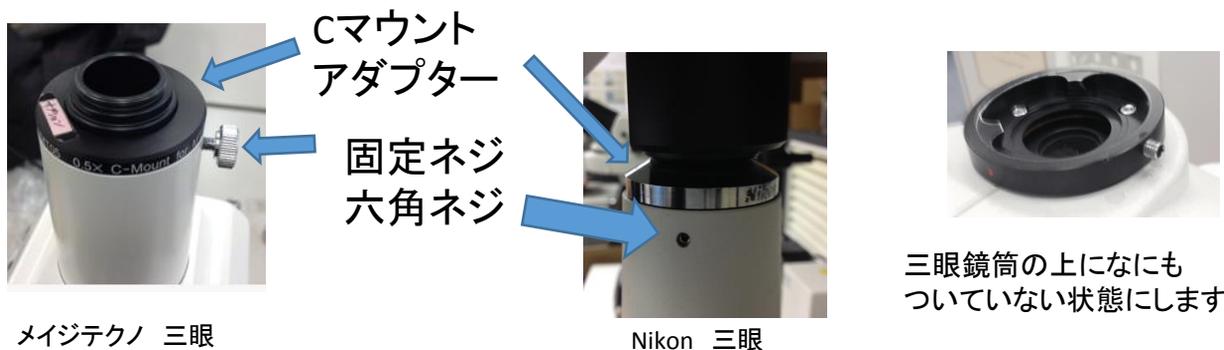
Power

(2) Scopepadの接続

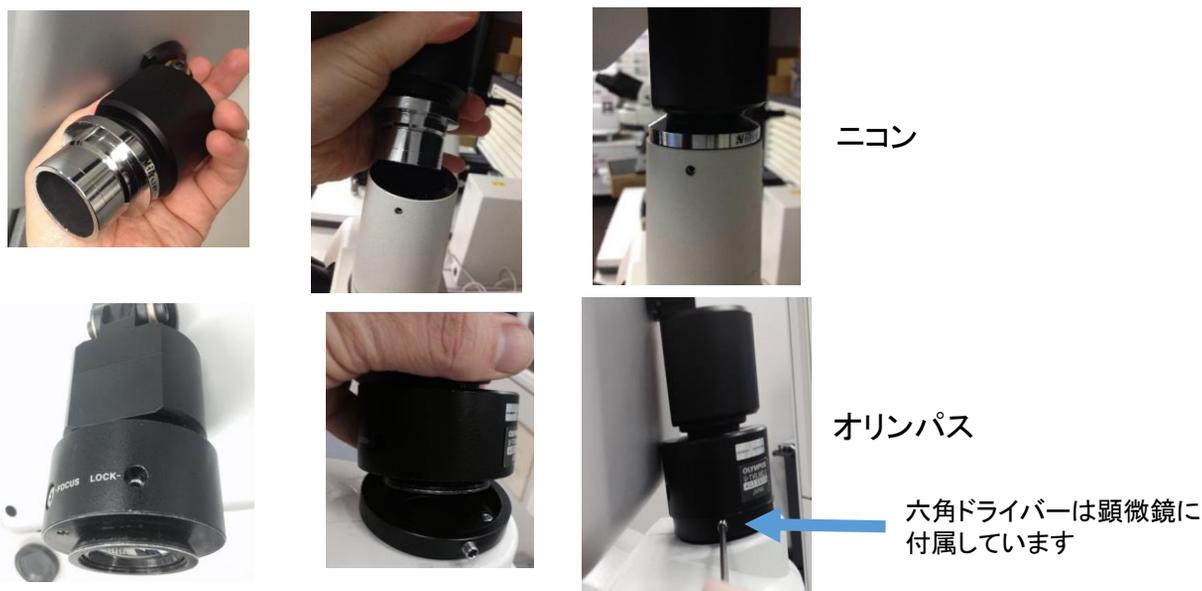
- ① すでにCマウントアダプターが固定されている場合は六角ネジ(固定ネジ)を緩めてCマウントアダプターを外します。

顕微鏡の三眼鏡筒のすぐ上がCマウントアダプターです。

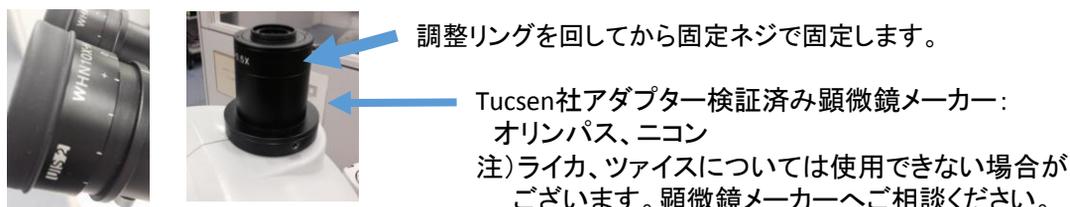
通常 六角ナットか 固定ネジで固定されています。(六角レンチは顕微鏡に通常付属しています) Cマウントアダプターの上部はCマウント規格のねじ山になっていますので 他のアダプターなどがつなまっている場合はまずCマウントごと外して上部につなまっているアダプターなどを外します



- ② CマウントアダプターをScopePadにねじ込み三眼鏡筒に挿して固定ネジで固定します。



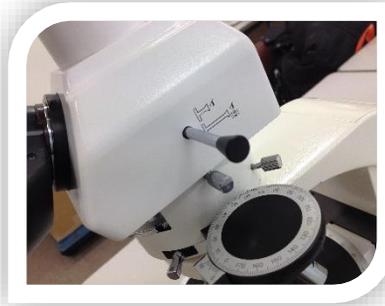
- ③ ピントを接眼で合わせ Cマウントアダプターの横の調整リングを回してピントを合わせます。



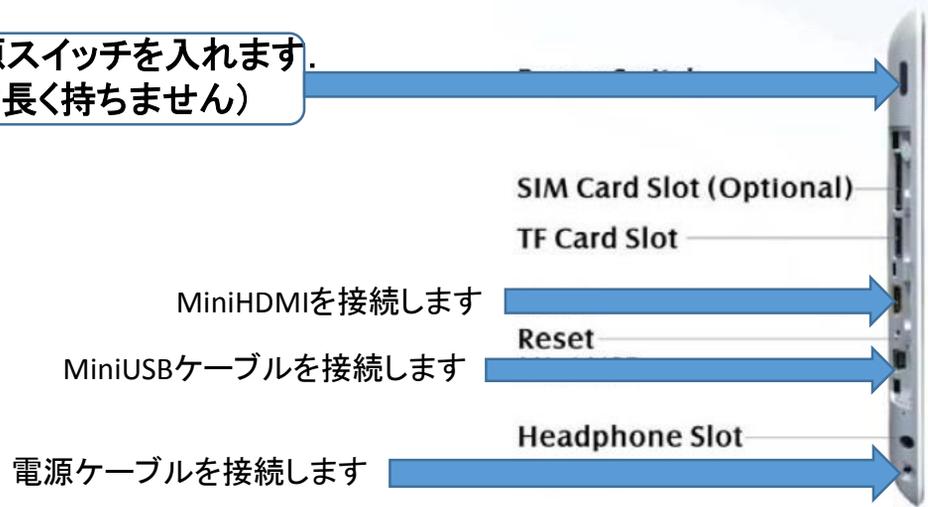
④ 必要に応じて
角度を変えます。



⑤ 三眼鏡筒に光が行くように
横のレバーを調整します。



⑥ 電源スイッチを入れます。
(充電は長く持ちません)



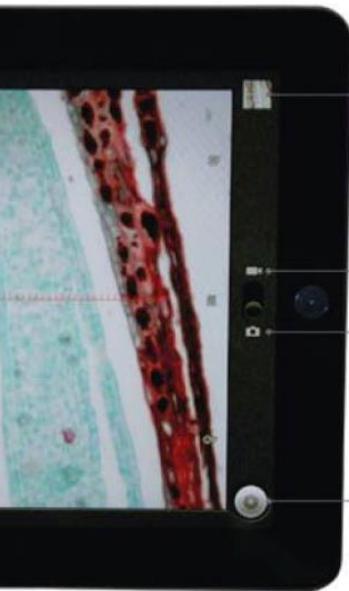
⑦ ロックを上スライドして
外します。



⑧ カメラアイコンを
タッチします



■ ■ ■ ■ ■ (3) 撮影 ■ ■ ■ ■ ■

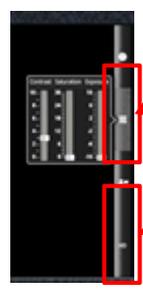


- Preview ← ③ 撮影された画像はPreviewで開くことができます。
- Video ① 写真はPhotoモード Videoはビデオモードにします。
- Photo
- Shutter ② シャッターで画像を撮影します。(音量は上部にスイッチがあります)

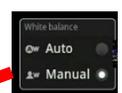
【撮影設定】



- 露出時間を自動にするかマニュアルにするか決めます
- GridをオンにするかOffするか選択できます
- 画素数
- 周波数の選択(蛍光灯との干渉で線が出るときなど)



Contrast, Saturation, Exposureが設定できます。
(蛍光の場合はすべてのレバーを少しアップします)



White balanceをManualにするかAutoにするか選択します。

Manualに選択した場合は  をタッチしてホワイトバランスを取り、



をタッチしてホワイトバランスを記憶させます

■(4)画像の閲覧、USBへのコピー■



① アプリを終了するには戻るボタンを押します

② 画像閲覧



画像を閲覧する場合はGalaxyをタッチします



ES File ExplorerはメディアやReportファイルも見ることができます。

③ 画像のUSBへのコピー

・ES File Explorerの画像が保存されているファイルを選択し、画像(もしくはフォルダー)をタッチし続けると 画像をCopyという オプションが表示されますのでCopyを選択します。(Fig9-1)

・複数の画像を一度にコピーする場合は、まづ、複数画像選択アイコンをタッチし、その後で、目的の画像をタッチすると、ファイル名が黄色に変化します。選択が終わったところで、黄色になったファイルの1つを長押しすると、Fig9-1と同様のオプションが表示されますので、All Copyをタッチします。

・次に右肩の←で 戻り U-diskを選択します。

・画面下に↑(Fig9-3)が表示されますので、それをタッチすると 先ほどコピーした画像が表示されますので、それをクリック&ホールドすると、Pasteという選択肢が表示されるので、Pasteを選択します

USBメモリの点滅が終わって USBメモリを抜いてください。

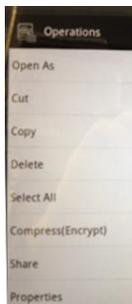


Fig9-1



Fig9-2

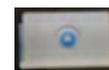
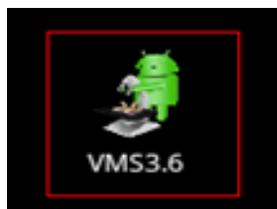


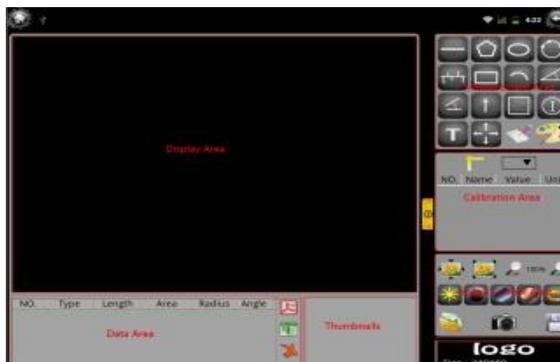
Fig9-3

■ ■ (5)VMSで画像を開く、撮る ■ ■

【アプリ基本操作】



① アプリをタッチして開きます



② ファイルを開きます。
既にファイルを開いている場合は
ファイルを保存しないと
測定結果が消えるという
メッセージがでます



画像エリアを最大化
したい場合は
操作パネルは
隠すことができます

② 再撮影したいばあいは
カメラアイコンをタッチします。



■ (6)測定キャリブレーション ■



① 対物レンズ(実体顕微鏡ズーム)を測定したいサンプルと同じ状態にします



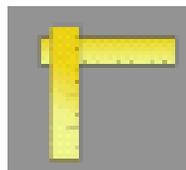
② ゲージを撮影します。



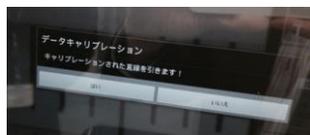
③ VSMで画像を開きます。



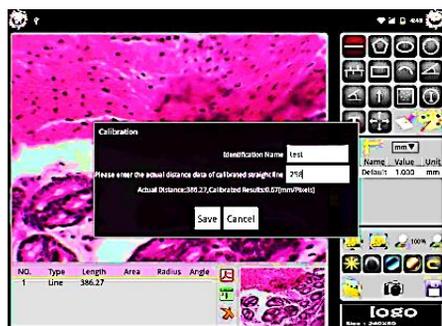
④ 入力する単位を決めます (表示されている場合も再度 選択します)



⑤ キャリブレーションアイコンをタッチします



⑥ 標準となる長さの始点と終点をタッチします。



⑦ ID名を決めて 長さを入力します。

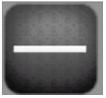
⑧ SAVEをタッチして保存します。

■ (7)キャリブレーション値呼び出し ■

⑧ サンプルを撮影して 画像を VSMから開きます

⑨ 保存したキャリブレーション値をタッチして Set as default valueをタッチします。

(8)測定



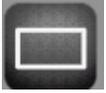
長さを測ります。始点と終点をタッチすると線が引かれ長さが測定されます。
斜めに図る場合は始点をタッチ&ドラッグで斜めの線分にして三点目をタッチします。



楕円の周囲長と面積を測定します。
楕円を囲む四角の対角線を引くつもりで クリック&ドラッグします。



フリーハンド多角形 最後に  をクリックして閉じます



長方形の面積と周囲長を測定します。



多角形の周囲長を測定します。チェックマークが表示されるので
これをタッチすると多角形が閉じます。



部分円の半径と周囲長を求めます。



角度を求めます



測定エリアが表示されます。移動したり拡張したりできます。



周りより暗いスポットを測定したい場合はBlackをタッチします

測定結果はPDF,Excelとしてファイル名を付けて出力できます。

NO.	Type	Length	Area	Radius	Angle
1	NO.1				
2	Line	153.44			
3	Oval	887.92	25126.62		
4	Angle				97.85
5	Line	190.04			



測定結果をクリアします。



測定結果はESFileExplorerの
VSMファイルの中に
保存されます

(9)画像加工



左から
 コントラスト調整
 グレースケール
 Anti-phase, Anaglyph
 元に戻す



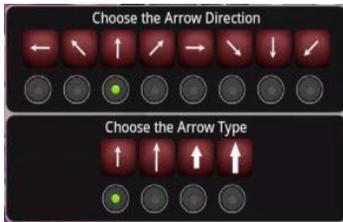
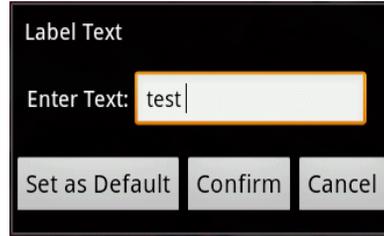
コントラスト調整
 アイコンをタッチして スライダー
 を動かします



文字, 図形の色を決めます.



→ フォントを決めて
 文字, シリアル番号を
 入力します

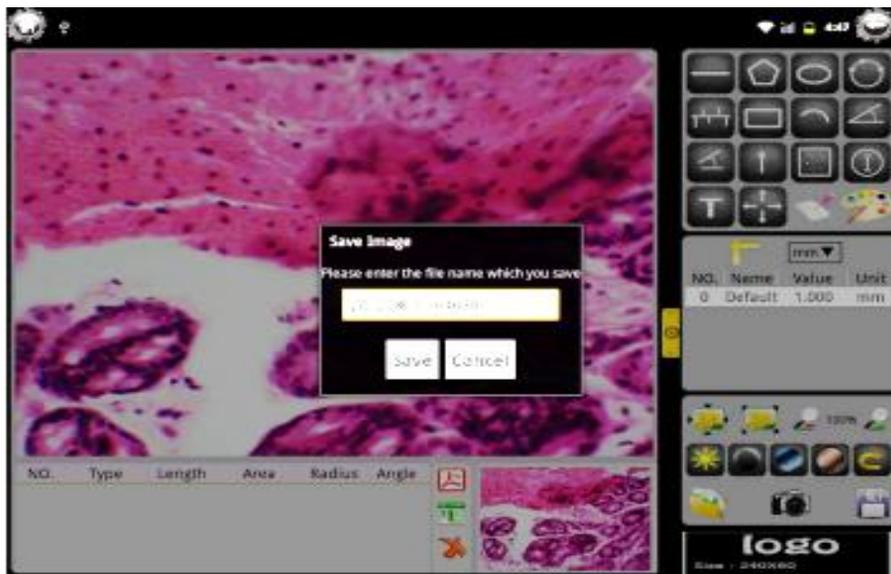


矢印の向きを決めて
 矢印をつけます.



画像をズームアップしたり
 画面にフィットしたりします

(10)測定加工結果の保存

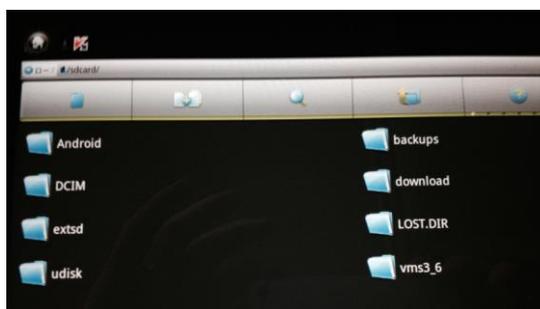


① フロッピーアイコンをタッチします。

② ファイル名を付けて保存します。

画像をファイル名を付けて保存したい場合は VSMから撮影してVSMで保存します。
レタリング、測定結果が画像に表示されている場合はそのOverlayも保存されます。

(11)ファイルエクスプローラ



ES File Explorerをタッチします。

画像を閲覧する場合はDCIMをタッチしてCameraをタッチします。



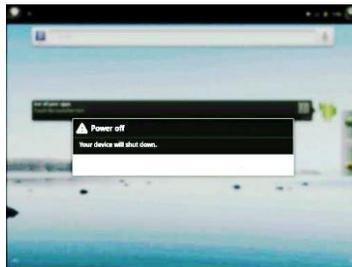
戻るボタンか リターンキーで
上位フォルダーに戻ります



ExcelファイルはVMSフォルダーの
Reportフォルダーに入っています
加工画像はVMSフォルダーの
すぐ下に入っています。

(11)電源オフ

電源スイッチを
長押ししてください。



BIONET バイオネットジャパン

〒194-0037 東京都町田市木曽西4-8-48
TEL: 042-792-3965 FAX: 042-792-3982